

MACF 礼拝説教要旨

2023年3月12日

『失われた銀貨』

ルカによる福音書 15章

8「あるいは、ドラクメ銀貨を十枚持っている女がいて、その一枚を無くしたとすれば、ともし火をつけ、家を掃き、見つけるまで念を入れて捜さないだろうか。

9そして、見つけたら、友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください』と言うであろう。

10 言うておくが、このように、一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」

ここに出てくる「ドラクメ銀貨」一枚の価値は一日の給料分暗いと言われていまして特別に高価だったわけではなさそうです。実は、この「ドラクメ銀貨 10枚」という単位が重要なのです。

この銀貨は10枚を一つのセットにしてネックレスにしたりして「婚約式の指輪」のように理解していたのです。これは10枚のセットでないと意味がないのです。

そして、そのうちの一枚を失っただけでも離婚の原因にされるほど重要なものでした。だからこそ、この女性は必死になって探したわけです。

これは一体何を教えようとしているのでしょうか。

1) 社会におけるあなたの存在

最近、特に「自己責任」という言葉がよく使われるようになり、社会的に依存する姿勢が厳しく戒められるような空気になってきました。

「自分が悪いのだ」「自分が足りないのだ」「自分は我慢しなければいけない」という雰囲気と主張の中で、わたしたちは「強くなければ生きてはいけません」のような気分に戻っています。

最初から、自分のいる場所などないと決めつけて、引きこもってしまっている人たちも大勢います。でも、これは、不自然なことであり、神さまが望んでいるものではありません。

「できるできない」に関係なく、あなたの存在、あなたのいのちは尊く、あなたが「いる」ということには大きな意義があります。

あなたならではの発想、あなたの立ち居振る舞い、あなたの笑顔、あなたの人への思い、それらはどれもとても重要であり、あなたならではの「世界」があります。

あなたはあなたとして「存在」する意味が大いにあるのです。他者と違っていてもそれはそれとして生きて、存在して、いのちを大切に守りながら人生と一緒に歩む意味があります。社会は簡単にあなたに点数をつけるでしょう。

でも、それは極めて「その時、その時代の中で造られた価値判断」によるもので普遍的なものではありません。

2) 人は1人では生きていけない

創世記の中に「人がひとりでは生きていけない」という言葉があります。

あれは、人はひとりで孤立していたら人間らしい生き方が十分に楽しめず神さまが与えてくださった能力も発揮できない、人間としての喜びを味わうことが難しいのです。というのも、人は人とのつながりの中で成長し、人との関わり、人への祝福の分与を通して成熟していくものだからです。

3) 10枚の輪のなかに戻るということ

この失われた銀貨は「10枚」セットになってこそ意義深いものになりました。同じように人が誰かとつながることができた時、そこに大きな存在の意義深さが増すことになります。

9枚の銀貨では「意味をなさない」のです。10枚あってはじめてその意義深さが出てきます。

律法学者たちにとっては、罪人と言われていた人たちを排除し、自分たちだけが生き残れば良いような雰囲気や社会の中に作っていました。

神さまにとっては、すべての人の存在が重要なのです。

それはちょうど、ジクソーパズルのピースのような存在と考えたらわかりやすいかもしれません。

ジクソーパズルはそのピース一つ一つにも大いに価値がありますが全体の中に収まった時、自分のピースとしての価値だけでなく、全体の図柄全体の絵画の完成品としての価値を持つようになります。

あなたが誰かとつながるとき、あなたはジクソーパズルの一部をしっかりと担っていることになるでしょう。

逆に、孤立し、置き去りにされているような気分にいる時、もしかしたら戻るべきジクソーパズルがあるはずだと考えると良いのかもしれませんが。

4) 人とのつながり、神とのつながり

この喩えの中には、この銀貨の価値を知って、必死に探している女性が登場します。

その必死に探す姿は羊飼いのそれと似ています。

そして、見つけ出して喜ぶ姿も羊飼いの時と似ています。

「できる」「できない」という線引ではなく「いのちがある」ということを土台に、神さまとつながり、人とつながることができたら、そこから新しい価値観の発見が始まると思います。

イエス様はあなたを探してくださいました。

そして、神の国の民として、心に「解放と喜びと平安」とを、もたらそうとしておられます

。

* * * *

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/rvSODncVEko>